

## “2016年”に建ち並ぶ “16棟”の建物



世界とつながっていた時代の出島に出会うことができます

昭和26年から復元整備に取り組んできた国指定史跡「出島和蘭商館跡」。中央部分に第3期の復元建物が完成し、10月19日に完成式典を行いました。

復元されたのは、オランダ商館員の住居「筆者蘭人部屋」や輸出する銅を保管した「銅蔵」などの6棟。これにより、江戸時代の建物16棟のまち並みがよみがえりました。

「出島無料入場券」(広報ながさき10月号9ページ)は、12月31日まで使用できます。ぜひ来場ください。

■問い合わせ 出島復元整備室(☎829-1194)

## 花いっぱいのにまに



寄贈いただいた球根を地域の活性化に活用します

農林中央金庫長崎支店様からチューリップの球根1万球、花の種子2万袋の寄贈を受け、10月28日に寄贈式を行いました。球根は、11月に香焼中学校の生徒により香焼町安保地区の花壇に植え付けられました。

来年3月の「香焼チューリップまつり」のころには開花し、訪れる人の目を楽しませてくれるでしょう。

■問い合わせ みどりの課(☎829-1171)

## わたしたちが考える ながさきの未来



「若者にとって魅力的なまちは？」をテーマにアイデアを発表

「ながさき元気Planコンテスト」を10月29日に開催。中学生から大学・専門学生までの11組がそれぞれのアイデアを市に提案しました。和のたずまいのある中島川・寺町エリアで、交流スペースを増やしてまちの魅力を向上させる案など、若者ならではの「住んでみたい」と思うアイデアが発表されました。

市民のみなさんのアイデアを生かして、活力あるまちづくりを進めていきます。

■問い合わせ 長崎創生推進室(☎829-1355)

## ひとりなら小さな一歩 集まれば大きな一歩



平和への願いを込めて風船を空に放つ「バルーンリリース」も行いました

「国連軍縮週間」(10月24日～30日)にあわせ、原爆犠牲者を追悼し平和を訴える「市民大行進」を開催。10月29日の秋空の下、約2,900人が平和公園から爆心地公園まで行進しました。11時2分<sup>はるか</sup>の黙とうの後、式見中学校3年の丸田晴夏さんが「被爆者のかたの苦しみ、平和への思いを次の世代に受け継ぎます」と宣言しました。原爆資料館前では、戦時食体験などができる「市民のつどい」も開かれました。

■問い合わせ 被爆継承課(☎844-3913)